

# 1 初めて本格的な国家論を展開し、愛国心の意義を説いた教科書

『新しい公民教科書』では、政治編の最初に国家とは何か、国家の役割とは何か、学習した上で、国内の政治のしくみについて学んでいきます。したがって、国内政治にとって重要な立憲主義や民主主義、基本的人権について理解しやすい構成になっています。

## 1 国家の役割を4点で明確化した

を代表しなければなりません。

**国家の役割** 歴史をふり返ると、外敵からの防衛は国家の重要な役割でした。また、道路や橋の建設など、土木工事などを行って、生産と生活の基盤となる**社会資本**の整備を図ること、そして**法**を制定し、法に基づき**社会秩序**を維持し、国内に平和をもたらすことも、国家の重要な役割です。

**三三知識 権利という**  
英語でいう right 利」と「正しい」意味があり、さらには右手を表し、ヨーロッパで、支配」や法は権利

国家が成立したのです。

結局、国民国家はそれまでの国家の役割である、**防衛**と**社会資本**の整備と**社会秩序**の維持とともに、国民一人ひとりの**権利の保障**を新たな役割として取り入れたこととなります。国民一人ひとりの権利の保障を支える根本が、**基本的人権**の思想です。

**立憲主義の** 国民国家は、従来、王や貴族が**独占**し

モンテスキュー(1755)。フランスの思想家。「法の精神」(1748)を著し、権力分立思想を説いた。

国家論を教科書上初めて本格的に展開し、近代国民国家の役割を、次の4点で整理した。

- 1、国防
- 2、社会資本の創設
- 3、法・社会秩序の維持
- 4、国民一人ひとりの権利の保障

## 3 愛国心の意義を詳しく展開した

ことを理解して初めて、共感をもって。愛国心は他国に対する憎悪ではありません。愛国心は、**国際社会**しようとする精神の土壌をなすものです。

**愛国心と社会** 愛国心は国を愛する心です。自分の国の文化と伝統、さらに歴史、国民、社会、**自然環境**などを大切にすることが愛国心の基礎になります。そこから、その国に生まれ、育ったことを誇りに思う気持ちもわいてきます。そして社会をより良くしようとする気持ちが一人ひとりの心なで強くなります。それによってより良い社会をつくらうとする努力が生まれ、良い国になっていきます。

国を愛することはこれから生まれてくる子孫を守ることにもつながっていきます。私たちは、祖先の残したすぐれた**伝統や文化**を現代に**継承**しつつ、未来をみつめて次の世代に伝え、そして**国家・社会**のさらなる発展に貢献しなければなりません。

**ファイヒテ** (1762)

**ポイント**  
①愛国心とは自育った国を大切にする。②愛国心は和と発展に貢献精神的土壌である。③自国の伝統や文化を伝えるだけでなく、伝えていかなければならない。

2011(平成23)年、なでしこジャパンがFIFA女子ワールドカップで優勝



平成18年に改正された教育基本法第2条は、「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する……態度を養うこと」を教育の目標として掲げている。この目標に忠実に、愛国心とは何か、詳しく追究した。

## 2 国防と警察を公共財と位置づけた

外国からの侵略を防ぐ防衛力と、国内の治安を維持する警察力が整備されて初めて、一国の経済は安定し発展する。そこで、多数派教科書と異なり、経済学の常識に従って、国防と警察を公共財であると明記した。

徳川氏が将軍として15代にわたって統治し、大規模な戦乱のなかった約260年間を**江戸時代**という。

江戸城は将軍直屬の**旗本**と**御家人**が守った。将軍直屬の**幕府**(幕領ともいう)と旗本の**知行地**を合わせると約700万石で、幕府は**全国石高**の約4分の1の支配地を有した。また、幕府は**外交**と**貨幣鑄造**の権限を独占した。幕府のしくみは、3代将軍徳川家光のころには、**老中**を筆頭に**若年寄**・**自衛**・**奉行**などの

役職制度が整った。将軍といえども**独断専行**を慎み、**評定**とよばれる**合議**での意見を尊重して政治が行われた。